

製品名 クレイジースモール FT S/N: 4FT

製品番号 CZSMFT

開発製造 cooyou.org ホームページ <https://cooyou.org/ft>

お問い合わせ先 admininfo@cooyou.org

仕様

インターフェース	マイクロUSB USBバスパワーで動作
動作OS	Windows,macOS,Linux,Android,iOS 標準ドライバで動作 スマートフォンやタブレットはUSB ホスト機能とOTGケーブルが必要です。iOS機はセルフパ ワーハブが必要かもしれません。
ボタン	側面A,B,C (USB近くからA、中央B、離れたC)
ジョイスティック	アナログ 8方向 (登録は4方向)
プリセット	A,B,Cの3つ。各ボタンで切り替え。 それぞれ感度、キー出力モードを設定可能 プリセットごと左右上下にそれぞれに最大3つのキー登録 初期値は以下 (左,右,上,下順) : プリセットA* A,D,W,S プリセットB 矢印左,矢印右,矢印上,矢印下 プリセットC マウス中,なし,マウス右,マウス左
設定項目	OS (*Windows,macOS) *が初期値 中心点調整 感度 (*低感度、高感度) キー出力モード (*押し続け、瞬間、連続) 連続時の時間間隔 (*低速、中速、高速) オールリセット
登録キー	日本語キーボードのキー、マウスクリック
ケース色	ABS樹脂 黒
幅,奥行,高さ 重さ	46x25x38mm 24g
付属品	取扱説明書、両面テープ6枚 *USBデータケーブルは付属しません
保証期間	3ヵ月

本体は主にプラスチック素材で出来ておりますので、体重をかけたり強い力で操作すると
破損の恐れがあります。保証外となりますのでご注意ください。

電源

接続先機器が起動状態で、本機にUSBケーブルを接続するとON,線を抜くとOFFと
なります。充電専用ケーブルでは動作しませんのでご注意ください。

iOS機はバスパワーで動作しない可能性があります。セルフパワーハブが必要かも
しれません。スマホやタブレットはOTGケーブル経由で接続します。



通常の使用方法

電源ONの後でジョイスティックを左右上下に動かすとキーボード (またはマウス
クリック) 出力されます。A,B,Cの各ボタンを押すことでプリセットを選択できま
す。選択は記憶されますので、次回以降はボタンを押す必要はありません。

OS設定

macOSでご利用の場合は、AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONしま
す。ボタンを離します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

macOSの場合は、もう一度AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONしま
す。ボタンを離します。

OSの画面上に設定画面が出ます。左シフトキー横の入力画面では、Aボタン、右
シフトキー横の入力画面ではBボタンを押すと認識されます。

その後、電源OFFします。

Windowsでご利用の場合は、Bボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離し
ます。電源OFFします。設定は記憶されます。(Windows用が初期設定のため、
通常は設定不要です)

中心点調整

ジョイスティック軸の中心点を設定します。出荷時は未調整です。

軸をスライドさせても出力されにくい場合に中心点調整を行うと改善します。

Cボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

軸に触らないようにして再度Cボタンを押します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

感度 (現在選択しているプリセットに対して設定されます)

BボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと低感度、Bボタンを押すと高感度です。どちらかを押します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

キー出力モード（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

AボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと「押し続け」モード、Bボタンを押すと「瞬間」モード、Cボタンを押すと「連続」モードとなります。

どれかを押しして下さい。設定は記憶されます。

「連続」を選択した場合は時間間隔を設定します。

Aボタンを押すと低速、Bボタンを押すと中速、Cボタンを押すと高速となります。どれかを押しして下さい。

その後電源OFFします。設定は記憶されます。

以下ではキー押下（プレス） キー離す（リリース）と表記します。

3つのキーが登録されているものとして説明します。登録が無い場合は処理をスキップします。

「押し続け」

軸をスライドすると、1プレス、2プレス、3プレス

軸を戻すと、3リリース、2リリース、1リリース

となります。斜めの位置の場合は、2方向の出力が同時に行われ、最大6キーのプレス状態となります。

「瞬間」

軸をスライドすると、

1プレス、2プレス、3プレス、3リリース、2リリース、1リリース

となります。軸を戻した時は何も行われません。

「連続」

軸をスライドすると、

1プレス、1リリース、2プレス、2リリース、3プレス、3リリース

となります。軸を戻した時は何も行われません。

プレスとリリース間に短い時間間隔、リリースとプレス間には長い時間間隔が入ります。

※macOSの場合、OSの仕様上、別のキーボードと跨いだ連携の制約があります。

単体ではCommand+Cのような動作は可能ですが、Command押下を本機で出力後、

他キーボードでCを合成するということが標準では出来ません。

サポート外ですが、Karabinerソフトの導入をご検討ください。

登録キー（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

次ページのキーボード図の番号を登録できます。

基本的にはWindows用となりますが、macOS設定の場合は青字の変更が相当します。0番は登録なしとなり、113,114,115はマウスクリック用です。

番号をキーボード出力して確認しながら設定しますので、OSの画面でメモ帳などのエディタを開いてください。英数字を直接入力できるようにしてください。

Aボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

次にジョイスティックで設定したい軸の方向にスライドしてから、軸を戻します。すると、現在の番号が出力されます。左方向から設定するのが簡単です。

例えば、A,L,1 100 のように出力されます。プリセットAの左Left方向の1番目のキー登録に100番（スペースキーに相当）が設定されてます。という意味です。

（プリセットAまたはBまたはC）、（ジョイスティック方向 左Left,右Right,上Up,下Downの頭文字）、（1または2または3番目）（登録番号）

Aボタンを押すごとに登録番号が+10されます。Bボタンを押すごとに1の位が+1されます。押すごとに情報が出力されます。最大値を超えると桁が0に戻ります。

（変更しない場合はA,Bボタンを押す必要はありません）

登録番号はボタンを押した時点で変更が記憶されます。

電源はいつでもOFFにできます。

登録番号が決まったら、次にCボタンを押すと2番目のキーの登録が出来ます。

同様に、A、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと3番目のキー登録ができます。同様にA、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと、方向が変わります。

方向はLeft,Right,Up,Downの順で変わります。例えば初めに選択した方向がUpでしたらDownに変わります。そして1番目のキー登録となります。

途中で電源はいつでもOFFにできます。

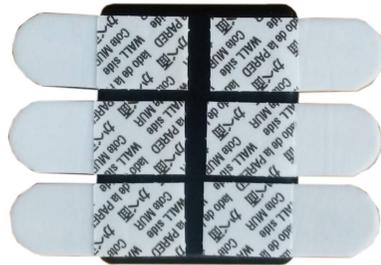
Downの3番目まで登録されると次はなにも設定しません。電源OFFしてください。

オールリセット

出荷時の設定に戻すことができます。

A、B、Cの全てのボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

オールリセットされましたので、電源OFFします。



設置手順

右足を使うか左足を使うか、親指を使うか、かかとを使うか、補助板を使用するかどうか、ご利用状況に合わせて決めてください。椅子に座る場合は親指、床に座る場合はかかとが適しています。床がカーペットや畳であったり、直接貼りたくない場合は、補助板を利用して底面に滑り止めのゴムやシリコンを付けて、本体を補助板に接着すると固定できます。

(補助板は製品には含まれておりません。不要となったCDのケースやディスク自体、カラーボード等をご利用ください。)

位置が決まりましたら念のため仮止めで試してみましょう。

セロハンテープなどで仮止めて操作してみてください。

大丈夫でしたら、

写真のように本体底面に付属の両面テープを貼ります。床もしくは補助板に固定します。

両面テープは市販品の3M コマンドタブ (SS) を6枚使用しています。

横にスポンジ部分が出てますが、この部分に接着面はありません。

剥がした時に痕が残りにくいタイプのテープです。

剥がす場合は矢印方向に引っ張ることでスポンジが伸びて取ることができます。

本体を持ちながら行ってください。

一度剥がすと接着面も伸びてしまうので消耗品としてご利用ください。